

令和3年度事業計画書・収支予算書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

公益財団法人福島県観光物産交流協会

令和3年度事業計画

福島ならではの宝を発掘し磨き上げを進めるとともに、正確な情報や魅力を効果的に伝える情報発信などの取組を関係機関と連携・協力しながら行い「福島県」のイメージ及びブランド力を向上させ、観光振興及び県産品振興を一体となって展開する。

観光振興事業については、新型コロナウイルス感染症の動向に留意しながら、本年度に実施される東京オリンピック・パラリンピックや東北デスティネーションキャンペーン（東北DC）の機会をいかし観光誘客に取り組んでいく。

観光への動機付けとなるよう情報発信においては、自然、温泉、歴史、そして日本酒を始めとする食、伝統工芸品などの福島の魅力がより効果的に伝わるよう、ホームページ・SNSや季刊観光情報誌などの各種媒体を活用していく。

また、観光コンテンツの磨き上げなど県内各地の観光地域づくりを進めるため、地域連携DMOとして、広域DMOの東北観光推進機構や県内各地域のDMOと連携を強化し、取り組んでいく。

教育旅行については、福島ならではの学習効果の高い素材を受入地域の関係者とともに磨き上げ、教育旅行誘致キャラバンやセミナー等により、県内外の教育旅行関係者に提案していく。

ホープツーリズムについては、教育旅行や企業等人材育成を目的としたツアーの誘致を中心に進めるとともに、フィールドパートナー等の地域の人材育成や、東日本大震災・原子力災害伝承館や旅行会社等との連携を進め、ホープツーリズムのさらなる量的拡大を図っていく。

海外誘客については、新型コロナウイルス感染症による入国制限の影響が大きいことから、その動向を注視しながら、コロナ収束後の外国人観光客の本県誘客に向け、県内のコンテンツの整備や情報発信に力を入れていくこととする。

県産品振興については、福島県観光物産館・日本橋ふくしま館・観光物産館大阪サテライトショップを核として、県産品の魅力発信と販売促進を図るほか、B to B型（企業間取引）卸売事業の取引拡大や、コロナ禍における新しい生活様式に根ざしたネット販売による県産品の販路拡大を図るため自主ECサイトを構築・運営する。また、ホームページに清酒・工芸品・農産物・加工食品等の県産品デジタルアーカイブスのページを作成し、事業者等が容易に素材を収集できる仕組みを構築し、ふくしま県産品ファン獲得の場を創出する。

福島県観光物産館は、県民の方々や福島県を訪れる観光客に広く親しまれる施設として利用されるよう、顧客の動向を意識した新商品や季節商品、話題性のある商品の紹介・展示・販売を行うとともに、ふくしまラウンジメニューの充実、切れ目のない飲食の提供により、新たな客層の開拓や利用者の満足度を高める。

日本橋ふくしま館は、首都圏における情報発信拠点として、令和2年度実施した経営診断を基に適切な運営に努め、魅力ある県産品の流通促進、販路開拓を図るとともに、県内各地の観光・催事イベント等の最新情報の発信を行う。

また、関係団体等と連携した企業マルシェや復興イベントへの外販出展がコロナ禍により開催が中止、縮小となる中、新たに企業への受注販売会や飲食店配達事業等を実施する。

平成30年7月に開設した大阪サテライトショップは、関西圏における県産加工食品や県産酒等の飲食店、小売酒販売店向けの販売強化を図るため、卸売部門と連携して県産品の浸透を加速させる。

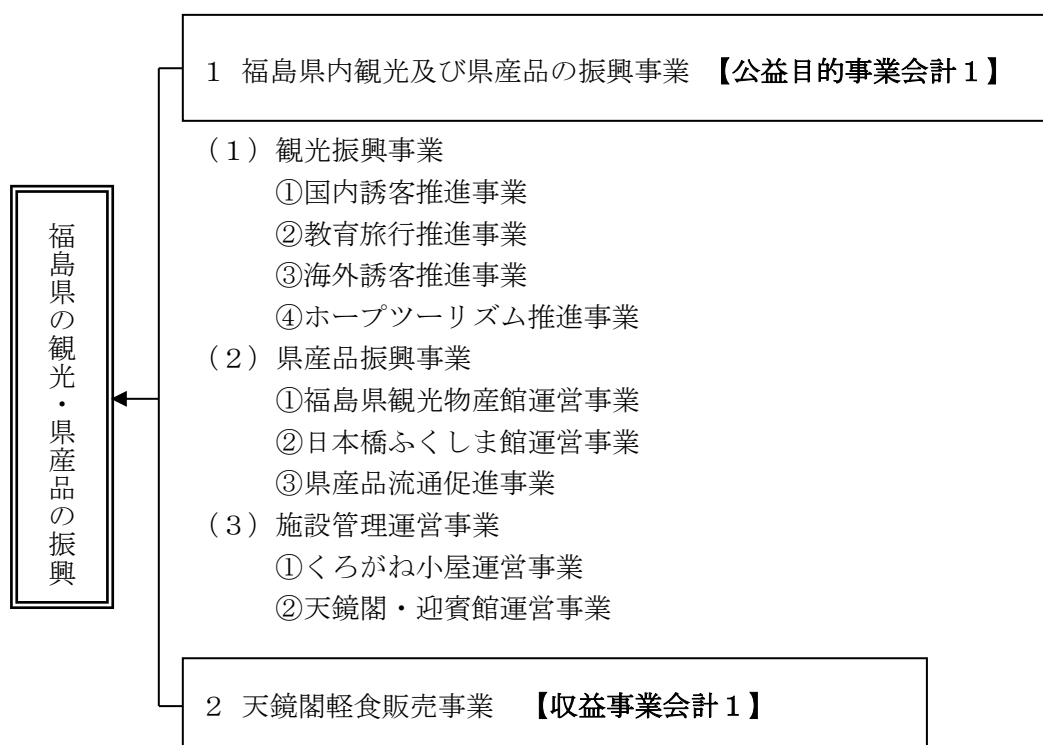
なお、新型コロナウイルス感染症への対策として、観光物産館、日本橋ふくしま館にサーモグラフィーカメラや空気清浄機、アルコール消毒液を設置し、マスク未着用者へのマスクの提供、密回避の入場制限などを実施していく。

くろがね小屋運営事業は、宿泊施設として新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、お客様の安全・安心を確保しつつ満足するサービスを提供する。

天鏡閣・迎賓館運営事業及び天鏡閣軽食販売事業については、同様に新型コロナウイルス感染症対策に努めつつ、SNSの活用など情報発信を強化し、積極的な宣伝・誘客活動により来館促進を図る。

組織・体制については、「人材の確保及び育成による組織運営の充実強化方針」に基づき、組織体制及び財務体質の強化に取り組む。

I 事業体系



II 事業計画

1 福島県内観光及び県産品の振興事業【公益目的事業会計1】

(1) 観光振興事業

① 国内誘客推進事業 ※イベント出展等は、新型コロナの状況を注視して実施する

ア 観光地域づくり総合推進事業 129,431千円〔新規〕

コロナ禍の中、注目された自然体験や近場の旅行など、新たな観光需要を獲得し、地域としての魅力を高める観光地づくりを目指す。

- ・観光コンテンツブラッシュアップ支援

地域の観光コンテンツの造成、磨き上げ、流通まで一連の支援を行い、各地域が主体的に観光コンテンツを育てるノウハウの蓄積等を図る。

- ・域内観光モデルの創出

「マイクロツーリズム」としての域内観光モデルの創出を図る。

- ・メディア等プロモーション

上記取組で造成したコンテンツ及び「ふくしまの旅」の旬の情報などをターゲットに合わせて発信媒体を選定し、定期的な情報発信を行う。

- ・他機関との連携

上記事業実施にあたっては、地域連携DMOとして、広域DMOである東北観光推進機構や、観光コンテンツの担い手となる県内各地域DMO等と連携して進めていく。

イ 「福が満開、福のしま。」福島県観光情報総合発信事業 16,754千円

〔継続〕(前年度16,947千円)

本県観光情報を収集し、年間を通じた総合情報発信業務としてのホームページ「ふくしまの旅」の管理運営、季刊観光情報誌「ふくしまほんものの旅」を発行するとともに、県内外のイベント出展や商談会を行う。

- ・ホームページ「ふくしまの旅」の管理・運営

県内の観光コンテンツや観光イベント情報を収集し、ホームページやTwitter、InstagramなどのSNSにより情報発信を行う。

- ・ふくしまほんものの旅 夏・秋・冬の3回を予定 各15万部発行

30代・40代の女性をターゲットに再訪意欲を促すため最新情報や穴場スポットなどを掲載する。

- ・イベント出展 年間数回程度

イベント等において、直接対面での観光PRを行うとともに、アンケート調査を行い本県観光に関する意見等を収集する。

- ・広域観光推進

広域観光の推進から本県への誘客に繋げるべく、東北中央道、5県ループ(高速道路による福島県、栃木県、茨城県、群馬県及び新潟県の連結)やダイヤモンドルート(福島県、茨城県、栃木県、東京都)などを活用し、ホームページによる情報発信やイベント出展を行う。

ウ MICE誘致促進事業 2,617千円〔継続〕(前年度2,617千円)

県内4市のコンベンション団体と連携し、大・中規模の国内及び国際コンベンションの誘致に向け営業活動を行うとともに、開催支援助成金申請受付等の事務

を行う。

エ ふくしま体験周遊受入体制整備事業 2, 360千円

[継続] (前年度2, 360千円)

本県観光のシンボルである「磐梯吾妻スカイライン」と、その周辺温泉地、山、自然を活用した体験コンテンツ等地域の観光資源を融合させ、交流人口の拡大の寄与を目的として、各観光協会から自然体験コンテンツの情報集約や、県の登山観光情報サイト「やまふく」による情報発信を、磐梯吾妻安達太良観光推進協議会と連携して行う。

オ 福島県観光周遊宿泊支援対策事業 885, 809千円

[継続] (前年度1, 139, 339千円)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内観光業の再生に向け、県内宿泊施設の利用促進と周辺観光関連事業者の需要拡大のため、宿泊助成及び宿泊者特典クーポン事業を行う。

② 教育旅行推進事業 ※誘致活動やモニターツアー等は、新型コロナの状況を注視して実施する。
(モニターツアー実施の際は感染予防対策を徹底する)

ア 教育旅行誘致促進事業 11, 055千円 [継続] (前年度11, 055千円)

これまでの誘致キャラバンで得た実施結果を基に、県外の地域が求めている情報を把握するとともに、福島県ならではの学習効果の高い情報を発信することで本県への教育旅行促進を図る。更に、ターゲットを絞り込み、新たなエリアからの教育旅行誘致を促進するための情報収集を行う。

また、県外の学校や旅行会社関係者からの問合せ等に適切な案内ができるようワンストップ窓口の強化と、ホームページを活用した取組を行う。

教育旅行セミナーの開催や東北観光推進機構等のセミナーへの参加を通し、本県の教育旅行コンテンツの紹介と現状について情報発信を行う。

・教育旅行誘致キャラバン 8方面程度

イ 教育旅行魅力発信強化事業 40, 160千円 (ホープツーリズムモニター事業との合計額)
[継続] (前年度39, 964千円)

県内外の教育旅行関係者を対象としたモニターツアーを実施し、会津エリアの歴史伝統文化体験や自然・環境学習、農家民泊等の体験活動と、相双エリアの「東日本大震災・原子力災害伝承館」等を活用したホープツーリズムと組み合わせた提案を行うことで学習効果の高いプログラムを発信する。また、受入関係者と連携しSDGs等の視点を取り入れた探究型の教育旅行プログラムの造成を図る。

・モニターツアー催行数 5回

ウ 合宿の里ふくしま復興事業 15, 454千円

[継続] (前年度15, 139千円)

自然環境に恵まれ合宿の適地であることをいかし、受入地域団体が広域で誘致の取組を行うことを支援し、合宿誘致を図る。また、合宿に関するワンストップ窓口やポータルサイトの運営等を行う。

- エ 教育旅行推進委員会の運営 100千円〔継続〕（前年度100千円）
教育旅行推進委員会の開催を通して、委員から日頃の教育旅行誘致促進に関する取組や地域の生きた情報を共有することで、県内全域での教育旅行誘致促進を図る。
- ③ 海外誘客推進事業 ※誘致活動や支援事業等は、新型コロナの状況を注視して実施する。
- ア DMO デジタルコンバージョン事業 38,181千円（新規）
地域と連携し訪日客向けコンテンツを整備し、各地域において地域通訳案内士の活用や地域の核となるプレーヤーの育成に取り組む。また、多言語 Web サイト「Fukushima Travel」において、当該コンテンツを展開し、併せて新型コロナウイルス感染症に関する衛生対策や新たな旅行トレンド、浜通りの復興の姿などを海外に向けて情報発信する。
- イ 東京都連携 MICE 誘致プロモーション事業 1,091千円（新規）
東京都と福島県が令和元年6月6日付けで締結した「都市間連携による MICE 誘致の推進に係る基本協定」に基づき、MICE 後にメディアファームトリップを実施するほか、東京都と共同で海外の MICE 関連業者に対してプロモーション活動を行う。
- ウ 外国人誘客旅行商品造成支援事業 71,000千円
〔継続〕（前年度106,700千円）
台湾、アセアン及び韓国、オセアニア諸国からの旅行商品を開発・企画する旅行会社等に対し、商品造成の支援を行う。なお、県内バスを利用した場合の加算や浜通り地域へ宿泊した場合の加算などを追加して実施する。
- エ 国際教育旅行等誘致促進事業 4,489千円
〔継続〕（前年度5,112千円）
東アジア地域において防災教育を中心とした教育旅行セミナー（オンライン実施も検討）を実施し、また、教育旅行関係者を南東北3県で連携して招請し、福島県の現状や防災教育素材のPRなどを行い、教育旅行の誘致を図る。
- オ 国際観光推進委員会の運営 100千円〔継続〕（前年度100千円）
国際観光推進委員会を設置し、官民一体となった海外向けのプロモーション活動や各種事業を実施し、国際観光の誘致促進等を図る。
- ④ ホープツーリズム推進事業 ※ツアー（モニター含）等は、新型コロナの状況を注視して実施する（ツアー実施の際は感染予防対策を徹底する）
- ア ホープツーリズム推進事業 34,993千円
〔継続〕（前年度40,633千円）
福島ならではの学びの旅「ホープツーリズム」により本県の交流人口の拡大を図る。引き続き地域の受入環境充実のため、浜通りの各自治体、まちづくり会社、東日本大震災・原子力災害伝承館等の関係者と連携し、地元キーマンの発掘やコンテンツの充実を進めていく。なお、今後もホープツーリズムのさらなる拡大に向け

て、取組状況や今後の方針等について共有する場を継続し、地域の関係者との連携体制を深めていくこととする。

また、旅行会社への展開強化を図るため、前年度に開設した旅行会社専用ページにホープツーリズム実施に関する情報を充実させていくとともに、各旅行会社からのオーダーに対しクオリティの高いコンテンツ提供ができるよう代行手配業務（ランドオペレーター）の受注を強化していく。

さらに、with コロナ対応として、前年度に試行実施したオンラインを活用した講話（オンラインホープ）の販売をさらに進め、将来の来県につながるよう取り組んでいく。

このほか、ツアーで得た収益も活用し、広報や営業活動などホープツーリズム拡大につながる取組や地域づくりを担う職員の資質向上の取組を、継続していくこととする。

イ ホープツーリズム モニターツアー・ツアー販売事業

ツアー販売事業

【2021年度計画】

※本数内訳（単位：本）

項目/実費・モニター	直接取扱	ランオペ	モニター	項目合計
教育旅行	15	15	8	38
一般	6	3	3	12
インバウンド	0	0	0	0
一般募集企画	5	0	0	5
合計	26	18	11	55

※ランオペ＝ランドオペレーター（手配代行業務）

ホープツーリズムのターゲットについては、特に「教育旅行」、「企業等研修・視察」を重点的に行っていく。モニター事業ではモデルコースを造成するとともに旅行商品造成に向けたAGT招請等を行う。

教育旅行については、県外のSSH、SGH、SPH（※）指定校や学習意欲が高い学校に実施いただき、ブランディング化を引き続き進めていく。そのため、モニターツアーでは、学校や教員を対象として実施するとともに、SSH等の指定校を中心に営業活動を行う。さらに、各旅行会社に対してホープツーリズムは「主体的・対話的で深い学び」ができ、高い学習効果が得られることを理解していただき、学校向け提案の素材としてホープツーリズムを取り入れられるよう働きかけていくこととする。

企業等研修・視察については、浜通りの各地方自治体等と連携し、ふくしま応援企業等向けや行政等のツアーを実施していく。

※SSH・・・スーパーサイエンスハイスクール

SGH・・・スーパーグローバルハイスクール

SPH・・・スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール

(2) 県産品振興事業

① 福島県観光物産館運営事業 760,278千円

〔継続〕〔指定管理者受託〕(前年度703,857千円)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらの営業となる中、前年度実施されたふくしま県産品応援商品券事業等も終了し、厳しい経営環境が見込まれる。

また、観光客の増につながる東京オリンピックの野球・ソフトボール競技の本県開催や東北DCの実施効果も不透明であり、大幅な来館者の増加も見通せない状況にある。

このため、当面は地元の利用客にターゲットを絞った県産品の充実を図るとともに、コロナの収束状況を見据えて、観光客等に魅力ある県産品の展示・販売を行うなど、顧客の動向に応じた県産品の販売促進と販路拡大を図る。

○売上額（税込み）及び来館者数の目標

売上額 : 810,000千円(前年度決算見込み対比 101.2%)

来館者数 : 618,700名

○店内の充実

- ・顧客の動向を意識した、臨機応変な品揃えと商品発注
- ・お中元、お歳暮、お年始にあわせたギフトコーナーの開設
- ・ふくしまラウンジメニューの充実

○誘客・情報発信

- ・四季の観光シーズン(花見山、新緑・紅葉、果物狩り等)を意識した誘客
- ・東北DCを好機とした観光誘客の促進
- ・フェイスブック等を活用した新商品・イベント企画等の発信
- ・パブリシティーを活用した効果的なPR
- ・インバウンド対策として、同時翻訳機を活用した接客の実施
- ・切り絵画家「久保 修」氏制作の包装資材による福島の魅力の発信

○催事の充実

- ・県内各地域の催事、自主企画イベント等の開催
- ・新規催事出展者の勧誘
- ・遠隔地からの催事出展者への催事手数料軽減等の検討

○事業者・職員の育成

- ・生産者への助言、フィードバック
- ・職員のバイヤー機能の強化

○大阪サテライトショップ

- ・各種イベントや広告媒体を通じた県産日本酒等の販売PR
- ・関西圏における県産品取扱店舗の新規開拓
- ・外販イベントの企画・出展による県産品の販売促進と販路開拓
- ・県事業連携による小売店及び飲食店等への取引拡大

○新型コロナウイルス感染症対策

- ・サーモグラフィーカメラ、空気清浄機の設置
- ・入館時のアルコール消毒
- ・定期的な換気と消毒
- ・レジ待ち列の間隔の確保、密回避の入場制限の実施

- ・マスク未着用者へのマスクの提供
- ・販売スタッフ健康管理（マスクの着用、手洗い、うがい、毎日の検温 等）

② 日本橋ふくしま館運営事業 464,478千円

〔継続〕（前年度529,584千円）

新型コロナウイルス感染症の影響や前年度実施したふくしま県産品応援商品券事業の終了に加え、企業マルシェ、イベント外販出展が中止や縮小となるなど厳しい経営環境が見込まれる。

このような中、首都圏における風評払拭・風化防止の最前線として、優れた県産品の展示・販売や県内市町村等による各種催事企画等を通じて県産品の安全・安心や県の復興の状況、観光案内等の総合的な情報発信を行うことにより、県産品の販売促進及び観光客の誘客に努める。

○売上額（税込み）及び来館者数の目標

売上額 : 375,000千円（前年度決算見込み対比 109.3%）

来館者数 : 330,000名

○経営診断に基づく店舗運営

- ・首都圏における福島コミュニティへの貢献（飲食コーナーの貸出等）
- ・事業者への販売データ等のフィードバック
- ・買い場づくり視点での店舗運営
 - （・飲食コーナーでの県産品器（漆器、陶器）の使用
 - ・品切れの解消
 - ・レジ待ち一品買い足し商品の陳列
 - ・プライスカード、POPの見直し、
 - ・新飲食メニューの提供 等）

○店内の充実

- ・話題性や時節を活かした旬な商品の発掘と品揃え
- ・新商品コーナー、館長・スタッフのおすすめ品コーナーの新設
- ・商品陳列場所の入替、店内レイアウトの見直し

○誘客・情報発信

- ・「ミデッテだより」作成による催事予定、旬の商品等の情報発信
- ・店舗前通行者へのチラシ配布による新規顧客の獲得
- ・オリンピック・パラリンピックを見据え、商品等の外国語表示などによる来館促進
- ・インバウンド対策として、同時翻訳機を活用した接客の実施
- ・東北DCを好機とした観光誘客の促進
- ・定住・二地域居住に関する情報発信や観光業務の充実

○販路開拓

- ・ふくしま応援企業ネットワークを活用した新規外販先の開拓
- ・県産品カタログによる株主優待活用などの販路開拓
- ・セット商品の通信販売、企業への受注販売会、飲食店配達事業等の実施による販路開拓

○催事の充実

- ・福島に出向いた事業者訪問による新規催事の開拓
- ・催事コーナーの充実や実演コーナーにおける実演販売
- ・団体（県人会等）による定期的な飲食・交流コーナーの有効活用

○事業者・職員の育成

- ・生産者への助言、フィードバック
- ・職員の調達の能力、バイヤー機能の充実

○新型コロナウイルス感染症対策

- ・サーモグラフィーカメラ、空気清浄機の設置
- ・入館時のアルコール消毒
- ・定期的な換気と消毒
- ・レジ待ち列の間隔の確保、密回避の入場制限の実施
- ・マスク未着用者へのマスクの提供
- ・販売スタッフ健康管理（マスクの着用、手洗い、うがい、毎日の検温 等）

③県産品流通促進事業

ア 物産展事業 17,741千円〔継続〕（前年度18,768千円）

コロナ禍で開催中止や規模縮小が続いており不透明な状況にあるが、首都圏や全国主要都市に拠点を置く百貨店、量販店において開催される各種物産展に出展し、本県の優れた県産品のPR及び販路開拓により、県産品の安全・安心を積極的に発信し、風評・風化対策に寄与するとともに、観光PRを積極的に行い観光誘客を図る。

*物産展の開催情報を積極的に収集し、出展事業者への情報提供を的確に行う。

イ 卸売事業 16,171千円〔継続〕（前年度12,865千円）

スーパーマーケットトレードショーなどの展示・商談会への出展や小売事業者等への営業活動を通して実施するB to B型（企業間取引）卸売事業を推進し、単独では販売力の弱い事業者の商品の流通促進・拡大を図る。

また、B to B専用のECサイトを構築・運営し、物産展事業・県産品EC活用事業等と連携した更なる県産品の販路拡大を図るとともに、県内外において積極的な営業活動を展開する。

ウ 県産品EC活用事業 18,040千円〔新規〕

コロナ禍により、新しい生活様式に根ざしたネット販売を活用した営業活動が求められていることから、新たにECサイトを開設し、自身ではECサイトの立ち上げや運営管理が困難な事業者の支援を行い、県産品の販売促進、販路拡大を図る。

エ 県産品デジタルアーカイブス事業 11,990千円〔新規〕

新作の商品や工芸品等を紹介するため、協会のホームページに、清酒、工芸品、農産物、加工食品等の動画、静止画（写真）を掲載する「県産品アーカイブス」ページを作成し、利用者（事業者、消費者等）がストレス無くワンストップでWEB上から瞬時に商品情報を収集できる仕組みにより、ふくしま県産品ファン獲

得の場を創出する。

オ 県産品復興支援事業 9,453千円〔継続〕(前年度8,871千円)

コロナ禍において低迷する県産品の販売需要に対応するため、県のアンテナショップで販売する新たな県産品の発掘、事業者に対する販売促進の助言、県内外で開催されるイベント等における県産品販売や商談会への出展支援を通し、県産品の販路回復と販路拡大を図る。

(新型コロナウイルス感染症対応緊急雇用創出事業)

(3) 施設管理運営事業

① くろがね小屋運営事業 25,667千円〔継続〕(前年度37,523千円)

宿泊事業者として、新型コロナウイルスの感染防止対策に努めながら営業を行う。

火山防災対策については、安達太良山火山防災協議会が策定する避難計画等に基づき火山情報に細心の注意を払うとともに、二本松市及び関係団体と連携し、利用者・登山客の安全確保を図る。

誘客促進については、年中無休の源泉かけ流し温泉付き山小屋としての魅力をホームページ等により積極的に発信する。

② 天鏡閣・迎賓館運営事業

磐梯山と猪苗代湖を望む高台に位置する国指定重要文化財天鏡閣と迎賓館の魅力を最大限に活用し、利用者の拡大を図る。

ア 天鏡閣の管理運営事業 18,734千円

〔継続〕〔指定管理者受託〕(前年度21,924千円)

季節に合わせたイベント、県民の日、文化の日のイベント等を開催し誘客につなげる。

また、SNSによる情報発信を積極的に行うとともに、利用者による投稿の促進を図り、天鏡閣の認知度向上及び誘客に取り組む。

好評を得ているドレスの試着について、季節限定ドレスや子供用ドレスの品揃えを充実させ、リピーターの集客を図る。

イ 迎賓館の維持管理事業 9,840千円〔継続〕(前年度9,479千円)

迎賓館を期間限定で特別に公開し、迎賓館にふさわしい日本文化の魅力を体験できる催事の開催や、天鏡閣と併せたガイドによる説明付きの見学会などを実施し誘客を図る。

ウ 天鏡閣・迎賓館の利活用にかかる情報発信を積極的に進め、文化団体の作品等の展示会、発表会の場として提供する。利用実績についてSNSにより情報発信し、話題づくりと利用者増を図る。

2 天鏡閣軽食販売事業【収益事業会計1】 3,256千円

〔継続〕(前年度4,531千円)

天鏡閣において、新型コロナウイルスの感染防止に努めながら軽食販売及びオリジ

ナル商品等の販売を行い、来館者のサービス向上に努める。品揃えの充実を図るため、女性をターゲットとしたオリジナルデザインの商品を開発する。

また、賓客食堂をティールームとして開放し、地元の食材を使用したスイーツとともに紅茶やハーブティーを提供し、リピーターの増を図る。

Ⅲ 組織・体制

「人材の確保及び育成による組織運営の充実強化方針（平成29年3月28日策定）」に基づき、組織体制及び財務体質の強化に取り組む。

1 組織体制の充実強化

(1) 人材の確保

中・長期的な視点のもと必要な正規職員を採用するとともに、現在の労働環境を見据え、嘱託職員、販売スタッフの無期への転換を進めていく。

(2) 職員の能力向上

オンライン研修をはじめ、参加可能な研修に積極的に参加し、業務知識の習得やスキルアップを図る。また、資格取得支援の仕組みを充実し、業務に有益な資格取得の促進を図る

【参加予定研修等】

- ・(公財) Fukushima自治研修センター研修
- ・全国公益法人協会主催研修
- ・接客マナー研修 等

(3) 事業の進行管理

各事業の進捗状況及び収支状況について、P D C Aサイクルにより適切に進行管理を行う。

2 財務体質の強化

(1) 各受託事業での収益確保

ウィズコロナ、アフターコロナにおける収益確保策を各受託事業において検討・実施し、安定的な事業運営を図っていく。

(2) 自主財源の確保

新型コロナウイルス感染症の会員への影響等を十分見極めながら、必要に応じ民間事業者の会費の免除について検討する。

令和3年度中に国債で運用中の基本財産7億円が順次満期償還となることから、償還額について有利かつ適切な方法により運用を図る。

(3) 県補助金等の確保

引き続き観光及び県産品の振興を図るため、県と協議を行いながら財源確保に努めていく。

(4) 経費節減

不断に組織体制や業務執行方法等の見直しを行い経費の節減を図る。

3 中期事業・運営計画の策定

第2期中期事業・運営計画は令和2年度で終了予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により福島県の各計画の策定が延期となったことを受け、当協会の計画についても1年間延長し、令和3年度に第3期中期事業・運営計画を策定する。

令和3年度収支予算書（総合）

令和3年 4月 1日 から 令和4年 3月31日 まで

(単位：千円)

科目	当期	前期	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	9,375	11,023	△ 1,648
基本財産運用益計	9,375	11,023	△ 1,648
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1	2	△ 1
特定資産運用益計	1	2	△ 1
受取会費			
正会員受取会費	4,093	11,902	△ 7,809
賛助会員会費	0	229	△ 229
受取会費計	4,093	12,131	△ 8,038
事業収益			
受取受託料収入	1,432,350	467,565	964,785
受取物産品売上高	1,090,995	1,116,339	△ 25,344
受取手数料収入	21,079	18,404	2,675
負担金収入	1,859	2,367	△ 508
使用料収入	18,863	29,121	△ 10,258
食事料収入	6,073	9,538	△ 3,465
旅行売上高	45,236	47,167	△ 1,931
受取雑収入	3,371	1,536	1,835
値引・戻り高	△ 10,856	△ 8,906	△ 1,950
事業収益計	2,608,970	1,683,131	925,839
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	82,512	88,014	△ 5,502
受取補助金等計	82,512	88,014	△ 5,502
雑収益			
受取利息	0	0	0
その他雑収益	172	553	△ 381
雑収益計	172	553	△ 381
経常収益計	2,705,123	1,794,854	910,269
(2) 経常費用			
事業費			
物産品仕入高	846,408	847,001	△ 593
物産品廃棄損等	4,177	4,874	△ 697
食事材料仕入高	1,834	2,918	△ 1,084
旅行仕入高	73,008	61,690	11,318
給料手当	238,022	252,274	△ 14,252
諸謝金	4,740	4,174	566
賃金	87,883	82,782	5,101
福利厚生費	52,267	52,681	△ 414
退職金共済掛金	2,728	3,041	△ 313
旅費交通費	16,457	19,311	△ 2,854
通信運搬費	5,316	5,526	△ 210
減価償却費	1,720	2,950	△ 1,230
消耗品費	21,326	21,462	△ 136
修繕費	3,542	2,867	675
印刷製本費	18,682	20,804	△ 2,122
燃料費	2,419	2,750	△ 331
光熱水料費	16,949	18,486	△ 1,537
賃借料	83,577	85,568	△ 1,991
支払手数料	24,720	18,112	6,608
広告宣伝費	126,568	34,768	91,800
租税公課	932	1,038	△ 106
支払負担金	29,037	16,921	12,116
支払助成金	851,426	114,897	736,529
支払寄付金	30	30	0
委託費	171,276	83,321	87,955
保険料	1,850	1,988	△ 138
受託設備費	800	350	450
店内装飾費	0	50	△ 50
包装資材費	11,197	11,449	△ 252

科目	当期	前期	増減
交際費	123	597	△ 474
会議費	602	1,124	△ 522
食糧費	147	288	△ 141
運賃	4,362	4,110	252
従業員食事材料費	160	133	27
研修費	2,269	2,305	△ 36
雑損失	71	137	△ 66
雑費	465	536	△ 71
事業費計	2,707,090	1,783,313	923,777
管理費			
役員報酬	12,513	12,513	0
給料手当	3,833	4,638	△ 805
福利厚生費	1,171	1,100	71
退職金共済掛金	150	150	0
会議費	96	908	△ 812
交際費	10	10	0
旅費交通費	82	316	△ 234
通信運搬費	136	161	△ 25
減価償却費	62	2	60
消耗品費	259	125	134
修繕費	7	0	7
印刷製本費	23	37	△ 14
燃料費	6	36	△ 30
光熱水料費	53	73	△ 20
賃借料	587	454	133
広告宣伝費	3	3	0
租税公課	93	90	3
支払負担金	39	64	△ 25
支払寄付金	20	20	0
支払手数料	43	29	14
運賃	6	6	0
研修費	33	500	△ 467
委託費	13	27	△ 14
管理費計	19,238	21,262	△ 2,024
経常費用計	2,726,328	1,804,575	921,753
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 21,205	△ 9,721	△ 11,484
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 21,205	△ 9,721	△ 11,484
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 21,205	△ 9,721	△ 11,484
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 21,205	△ 9,721	△ 11,484
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 21,205	△ 9,721	△ 11,484
一般正味財産期首残高	232,111	152,517	79,594
一般正味財産期末残高	210,906	142,796	68,110
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	9,375	11,023	△ 1,648
基本財産運用益計	9,375	11,023	△ 1,648
特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	2	△ 2
特定資産運用益計	0	2	△ 2
一般正味財産への振替額	9,375	11,023	△ 1,648
当期指定正味財産増減額	0	2	△ 2
指定正味財産期首残高	917,723	917,723	0
指定正味財産期末残高	917,723	917,725	△ 2
III 正味財産期末残高	1,128,629	1,060,521	68,108

収支予算書内訳表
令和3年 4月 1日 から 令和4年 3月31日 まで

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計								収益事業会計	法人会計	合計	
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計			小計			天鏡閣売店
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣	迎賓館				
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益												
基本財産受取利息	2,344	0	0	0	2,344	0	0	0	4,688	0	4,687	9,375
基本財産運用益計	2,344	0	0	0	2,344	0	0	0	4,688	0	4,687	9,375
特定資産運用益												
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
特定資産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
受取会費												
正会員受取会費	0	0	0	2,047	0	0	0	0	2,047	0	2,046	4,093
賛助会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費計	0	0	0	2,047	0	0	0	0	2,047	0	2,046	4,093
事業収益												
受取受託料収入	1,239,357	38,595	90,852	0	45,460	0	11,650	6,436	1,432,350	0	0	1,432,350
受取物産品売上高	0	739,405	345,202	0	0	3,379	0	0	1,087,986	3,009	0	1,090,995
受取手数料収入	1,700	50	109	12,810	6,410	0	0	0	21,079	0	0	21,079
負担金収入	0	0	0	1,859	0	0	0	0	1,859	0	0	1,859
使用料収入	0	0	0	0	0	13,905	4,958	0	18,863	0	0	18,863
食事料収入	0	0	0	0	0	6,073	0	0	6,073	0	0	6,073
旅行売上高	45,236	0	0	0	0	0	0	0	45,236	0	0	45,236
受取雑収入	10	2,440	564	0	0	0	0	0	3,014	357	0	3,371
値引・戻り高	0	△ 8,456	△ 2,400	0	0	0	0	0	△ 10,856	0	0	△ 10,856
事業収益計	1,286,303	772,034	434,327	14,669	51,870	23,357	16,608	6,436	2,605,604	3,366	0	2,608,970
受取補助金等												
受取地方公共団体補助金	52,549	77	63	24	11,635	34	26	3,404	67,812	0	14,700	82,512
受取補助金等計	52,549	77	63	24	11,635	34	26	3,404	67,812	0	14,700	82,512
雑収益												
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他雑収益	0	12	0	0	0	160	0	0	172	0	0	172
雑収益計	0	12	0	0	0	160	0	0	172	0	0	172
経常収益計	1,341,196	772,123	434,390	16,740	65,849	23,551	16,634	9,840	2,680,323	3,366	21,434	2,705,123
(2) 経常費用												
事業費												
物産品仕入高	0	580,154	262,353	0	0	1,931	0	0	844,438	1,970	0	846,408
物産品廃棄損等	0	2,419	1,758	0	0	0	0	0	4,177	0	0	4,177
食事材料仕入高	0	0	0	0	0	1,834	0	0	1,834	0	0	1,834
旅行仕入高	73,008	0	0	0	0	0	0	0	73,008	0	0	73,008
給料手当	84,425	46,117	46,641	8,507	29,175	11,116	9,783	2,258	238,022	0	0	238,022
諸謝金	4,145	0	160	105	0	0	250	80	4,740	0	0	4,740
賃金	0	40,427	40,141	2,769	0	2,206	749	800	87,092	791	0	87,883
福利厚生費	13,122	14,045	14,638	1,839	4,807	1,706	1,723	266	52,146	121	0	52,267
退職金共済掛金	573	778	86	189	689	200	213	0	2,728	0	0	2,728
旅費交通費	10,345	843	1,329	1,912	1,780	148	100	0	16,457	0	0	16,457
通信運搬費	924	1,660	977	232	463	749	279	32	5,316	0	0	5,316
減価償却費	61	1,586	24	9	17	13	10	0	1,720	0	0	1,720
消耗品費	6,157	6,621	3,474	174	3,103	1,045	372	150	21,096	230	0	21,326
修繕費	148	355	1,553	1	2	702	351	430	3,542	0	0	3,542
印刷製本費	13,277	3,277	972	22	212	450	304	168	18,682	0	0	18,682
燃料費	474	237	2	72	84	1,200	323	0	2,392	27	0	2,419
光熱水料費	369	6,851	7,355	9	18	11	1,639	697	16,949	0	0	16,949
賃借料	9,297	10,004	62,240	732	636	219	449	0	83,577	0	0	83,577
支払手数料	12,724	6,047	5,089	83	358	164	137	28	24,630	90	0	24,720
広告宣伝費	97,453	22,901	2,252	566	3,001	215	180	0	126,568	0	0	126,568
租税公課	501	126	130	3	135	6	20	11	932	0	0	932
支払負担金	27,076	102	361	133	741	498	126	0	29,037	0	0	29,037
支払助成金	849,520	0	1,906	0	0	0	0	0	851,426	0	0	851,426
支払寄付金	0	30	0	0	0	0	0	0	30	0	0	30
委託費	136,670	4,690	5,714	76	16,926	757	1,523	4,920	171,276	0	0	171,276
保険料	1,089	341	132	0	0	138	145	0	1,845	5	0	1,850
受託設備費	0	0	800	0	0	0	0	0	800	0	0	800
包装資材費	0	9,182	2,000	0	0	0	0	0	11,182	15	0	11,197
交際費	13	31	36	2	12	14	15	0	123	0	0	123
会議費	344	4	0	52	202	0	0	0	602	0	0	602
食糧費	66	0	0	53	0	0	28	0	147	0	0	147
運賃	2,004	589	854	167	651	85	5	0	4,355	7	0	4,362
従業員食事材料費	0	0	0	0	0	160	0	0	160	0	0	160
研修費	36	787	1,330	0	6	100	10	0	2,269	0	0	2,269
雑損失	0	1	70	0	0	0	0	0	71	0	0	71
雑費	159	73	101	34	98	0	0	0	465	0	0	465
事業費計	1,343,980	760,278	464,478	17,741	63,116	25,667	18,734	9,840	2,703,834	3,256	0	2,707,090

科目	公益目的事業会計								収益事業会計	法人会計	合計	
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計			小計			天鏡閣売店
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣	迎賓館				
管理費												
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,513	12,513
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,833	3,833
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,171	1,171
退職金共済掛金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150	150
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	96	96
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82	82
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136	136
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	62
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	259	259
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	23
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	53
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	587	587
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	93	93
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	39
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	43
運賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	33
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,238	19,238
経常費用計	1,343,980	760,278	464,478	17,741	63,116	25,667	18,734	9,840	2,703,834	3,256	19,238	2,726,328
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,784	11,845	△ 30,088	△ 1,001	2,733	△ 2,116	△ 2,100	0	△ 23,511	110	2,196	△ 21,205
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,784	11,845	△ 30,088	△ 1,001	2,733	△ 2,116	△ 2,100	0	△ 23,511	110	2,196	△ 21,205
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用												
その他の経常外費用												
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,784	11,845	△ 30,088	△ 1,001	2,733	△ 2,116	△ 2,100	0	△ 23,511	110	2,196	△ 21,205
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	50	0	50	△ 50	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,784	11,845	△ 30,088	△ 1,001	2,733	△ 2,116	△ 2,050	0	△ 23,461	60	2,196	△ 21,205
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,784	11,845	△ 30,088	△ 1,001	2,733	△ 2,116	△ 2,050	0	△ 23,461	60	2,196	△ 21,205
一般正味財産期首残高	47,018	35,628	138,257	51,881	△ 28,783	△ 3,094	△ 910	0	239,997	△ 30,667	22,781	232,111
一般正味財産期末残高	44,234	47,473	108,169	50,880	△ 26,050	△ 5,210	△ 2,960	0	216,536	△ 30,607	24,977	210,906
II 指定正味財産増減の部												
基本財産運用益												
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,375	9,375
基本財産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,375	9,375
特定資産運用益												
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,375	9,375
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,723	917,723
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,723	917,723
III 正味財産期末残高	44,234	47,473	108,169	50,880	△ 26,050	△ 5,210	△ 2,960	0	216,536	△ 30,607	942,700	1,128,629